

ALGO PRESS

2012年9月10日発行 発行所: (株)アルゴクラブ 発行人: 中屋敷俊明 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-6 <http://www.algoclub.com>

丸の内キッズジャンボリー2012にアルゴクラブが出展しました!

去る8月14日から16日までの3日間、東京国際フォーラムで開催された「丸の内キッズジャンボリー2012」にアルゴクラブが出展しました。このイベントは2007年にスタートして今年で5回目、昨年は11万人、今年は14万人もの来場者を集め、アルゴクラブのイベント会場も大変な盛況を博しました。

今年は、「夏だ!アルゴだ!スタンプラリー!」と題し、参加した皆さんに様々なゲームにチャレンジしてもらいながら、アルゴクラブの楽しさ、面白さを知ってもらおうと、会場全体を5つのブースに分け、ポイントを獲得してまわるスタンプラリーを実施しました。



▲ 昨年を越えるたくさんの来場者

参加者はそれぞれのブースに分かれて着席し、司会の合図で第1ピリオドがスタートしました。1つのブースでの競技時間は20分、終了すると全員が次のブースへ次々と移動します。その様子は、さながらロンドンオリンピックの体操競技のよ

うでした。すべての参加者が、どのブースでも頭をフル回転させて、ゲームに挑戦していました。今回は、個人のポイントを競う個人戦のほか、ブースごとに結成されたチームで争う団体戦の種目もあり、初めて知り合ったお友達同士が、時に競い合い、時に励まし合って協力している姿が印象的でした。

最後のピリオドが終了すると、いよいよ結果発表です。緊張した雰囲気の中、個人・団体の結果がアナウンスされ、会場はひとときわ盛り上がりを見せました。終了後、名古屋の小学校3年生の男子が、「頭は疲れたけどすごく楽しかった!」と、充実感あふれた目をして話してくれました。ちょうどお盆の時期に開催されたこのイベントには、関東ばかりではなく、全国からたくさんの子供たちが参加してくれました。9月から、どこかの教室で、アルゴクラブの新しいチームメイトになっているかもしれませんね。



▲ 各ブースで熱戦が繰り広げられました

大事にしたい、「仮定して考える」力 ～MASSE第2回試験を終えて～

先日、第2回国際数理能力評価試験「MASSE(マッセ)」(主催:国際数理能力評価機構)が、全国の会場で開催されました。アルゴクラブの子どもたちも多数参加したようです。

この試験は、算数を素材にして、子どもたちが身につけている数理的思考力を、TOEICのようなスコアによって総合的に表すとともに、8つの力に分析して客観的な評価を行うものです。現在の力を知り、学習の指針を得られる試験だと思います。

今回の試験について、主催者から公表された公開問題と結果報告から読み取れる小学生の思考力の傾向について検証します。

まず、最初の問題は、小学校1～2年生を対象にした「Primary-MASSE(プライマリー・マッセ)」の問題です。

リンゴと ミカンが、あわせて 14こあります。

ミカンのほうが おおいことが わかっています。

7こずつ 2まいのお皿に わけました。どちらのお皿にも、リンゴとミカンが のっています。

(問い1) かた方のお皿のリンゴが 5こだとすると、もうかた方のお皿のミカンは なんこでしょうか。

(問い2) ミカンは ぜんぶで、なんこでしょうか。

(一部抜粋)

計算過程だけならば小学校1年生でも十分に対応できる問題ですが、条件の一つを仮定し、そこから推論を進める考え方が問われています。問い1、問い2の正解率は、全体の20%程度でした。また、同じ問題が小学校3～4年生(中学年)を対象にした「Basic-MASSE(ベーシック・マッセ)」でも出題されており、そこでも40～50%程度の正解率であったことから、低学年のうちからきちんと身につけておくべき

「仮定して考える」力の不足が見て取れます。

続いて小学校3～4年生対象の「Basic-MASSE」の問題を見てみましょう。

あきのり君、いちろう君、うたこさんの3人で、水泳の競そうをしました。

プールからあがった3人が、次のように話しています。

あきのり君の発言「いちろう君が1位だった。」

いちろう君の発言「ぼくはうたこさんより速かった。」

うたこさんの発言「わたしは2位だった。」

(問い1) 3人とも本当のことを言ったとします。3人の順位を答えなさい。

(問い2) 3人ともうそのことを言ったとします。1位は誰でしょうか。

(問い3) 1人だけ本当のことを言ったとします。1位は誰でしょうか。

(問い4) びりになった人だけがうそのことを言ったとします。3人の順位を答えなさい。

問い1は、きちんと文章を読みとる力さえあれば容易な問題です。正解率も90%以上でした。しかし、問い3、問い4のように、条件を整理し、仮定して考えをすすめることが必要な問題になると、正解率がおおよそ40%と大幅に下がってしまいます。

「仮定して考える」力は、算数力、数学力を伸ばす上で非常に大切であるとともに、あらゆる教科の習得や研究にも欠かせません。この数理的思考力、問題解決力の根幹をなす力は、アルゴクラブの子どもであれば、ゲームやプリント学習を通して、十分鍛えられていることですが、今後もさらに、クラブ内での数理トレーニングや通常授業の中で、意識的、重点的に強化すべき指導のポイントだと思われます。

MASSE 第3回 11月25日 (日)

国際数理能力評価試験

実施会場 公設会場: 仙台、東京、大阪、福岡

団体会場: 本機構が認定した団体受験会場

試験会場、お申し込み方法等の詳細は、MASSEホームページにて10月より随時発表されます。

MASSE(マッセ) ホームページ <http://massessment.org>

実施グレード

グレード	出題内容
Primary-MASSE (プライマリー・マッセ)	小学校2年生までの算数
Basic-MASSE (ベーシック・マッセ)	小学校4年生までの算数
MASSE (マッセ)	小学校6年生までの算数